

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: さきたま史跡の博物館
 担当名: 総務・公園管理担当
 内線:

(単位: 千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業		
P47	さきたま史跡の博物館管理費	一般会計	教育費	社会教育費	博物館費	史跡の博物館費		
事業期間	昭和44年度～	根拠法令	埼玉県立史跡の博物館条例、同管理規則		針路	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール 4, 8, 11	
				分野施策	0803 文化芸術の振興		SDGsターゲット 4-7, 8-9, 11-4	
1 事業概要	さきたま史跡の博物館を適切に管理し、埼玉県の誇りである国宝「武蔵稲荷山古墳出土品」等の保管、資料の収集保護活用の円滑化、特別史跡に昇格した「埼玉古墳群」の一層の保存活用を図るとともに、考古資料の展示や体験事業を通じて県民の学習活動を促進する。		5 事業説明					
	ア 情報・体験学習室の運営	△249千円	(1) 事業内容			2,146千円 → 1,897千円		
	イ 展示・広報活動	△676千円	ア 情報・体験学習室の運営			3,570千円 → 2,894千円		
			イ 展示・広報活動					
			(2) 事業計画					
			ア 体験学習室の運営					
			まが玉作りや古代体験、さきたま講座、史跡探訪等の事業を行い、史跡や文化財に対する興味・関心を高める機会を提供する					
			イ 企画展の開催					
			(ア) 最新出土品展の開催を予定					
			(イ) 企画展の開催を予定					
			(3) 事業効果					
			令和5年度利用者数 63,489人					
			【活動指標(アウトプット)】 企画展や特別展の実施5件、体験工房入場者数7,995人、アウトリーチ参加者数3,176人、館有資料の貸出点数4,605点					
			【成果指標(アウトカム)】 観覧者満足度85%、企画展開連講座満足度85%、体験事業における満足度92%、利用者数98,000人					
			(4) 県民・民間活用、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況					
			ア まが玉作り等の事業でボランティアを活用					
			イ 広報誌等への掲載での相互協力、県立学校とのイベント等の実施					
			ウ 埼玉県埋蔵文化財調査事業団と連携して、ほるとま展を開催					
			エ 地元市町村や企業等と連携して、特別史跡に昇格した「埼玉古墳群」の魅力を高め、広く周知					
			(5) 補正予算の概要					
			委託料が見込みを下回ったこと等による減額					
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の予算額
		財産収入	諸収入					
決定額	△925	△925				0	4,791	
現計額	5,716	4,043	85			1,588		

事業内訳書

事業名	さきたま史跡の博物館管理費		
単位事業名	情報・体験学習室の運営	予算額	△ 249千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 物品売払収入	△925	—	さきたま史跡の博物館 図録、グッズ等
一般財源	676	—	
合計	△249	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△245	—	消耗品の節減による補正
役務費	△4	—	衣装洗濯代の節減による補正
合計	△249	—	

単位事業名	展示・広報活動	予算額	△ 676千円
-------	---------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△676	—	
合計	△676	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△126	—	パンフレット印刷代の節減による補正
役務費	△120	—	考古資料搬出入経費の節減による補正
委託料	△430	—	企画展印刷物等製作委託の減 記念グッズ製作委託の減
合計	△676	—	